安井小学校　学校だより

第1回　学校評価特別号

令和６年１０月
京都市立安井小学校
校長　谷垣　賢
TEL075－841－3130　fax075－811－3333
HP　http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yasui-s/

☆令和６年度　　第１回　学校評価のまとめ☆

６月に行った学校評価アンケート結果についてお知らせします。

＜学校生活について＞

安井小学校では、「輝く安井の子の育成　～自分から　そして自分たちの力で～」を学校教育目標として教育活動を推進しています。本校の教育が目指す子ども像は「生きる力」を育む「知・徳・体」の３つで構成し、「やさしく思いやりのある子」「すすんで学習を進める子」「いきいき元気に健康な子」の育成を目指しています。

学校評価アンケート結果のうち、「友だちに仲良く、優しく接している。」の項目で、低学年で約 98％、高学年で約 96％の児童ができていると答えています。また、保護者アンケートでも約 99％が「子どもは、友だちや周りの人に、仲良く優しく接している。」と回答しています。保護者の皆様や地域の皆様が見守ってくださっていることもあり、昨年度と同様に、自分も人も大切にする人権意識が高く、目指す子ども像の一つである「やさしく思いやりのある子」の姿に近づいていると考えられます。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年)ともだちになかよく、やさしくせっしている。	81.88%	15.94%	0.00%	2.17%
(高学年)友だちに仲良く、優しく接している。	70.67%	25.33%	4.00%	0.00%
(保護者)子どもは、友だちや周りの人に、仲良く優しく接している。	30.19%	68.55%	1.26%	0.00%

＜学習について＞

「授業の内容はよくわかる」という質問に対して低学年は約 93％、高学年は約 96％がわかると答えています。また、保護者の約 99％が「学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。」と答えています。これに対して「授業中は自分から進んで学習したり、発表したりしている。」では、低学年の約 10％、高学年の約 21％が主体的に学習に取り組めていないと思っていることがわかりました。発達段階ということもありますが、高学年になるにつれ主体的に学習に取り組めていないと感じている児童が多くなる傾向にあります。子どもが自ら調べたり、考えをまとめたりできるように、授業の中で GIGA 端末を活用する場面も取り入れていますが、より効果的な活用方法について引き続き模索していく必要があると考えています。また、児童が活躍できる場面を授業のなかで位置づけ、自ら積極的に学習して達成感を得たり意見交流で学びの深まりを実感できるようにしたりすることで児童の主体性を高めていきたいです。「すすんで学習を進める子」の実現のために、今後も授業の質を高めるように努めると共に、基礎学力の定着を図る上で大切な家庭学習の習慣化を図れるよう家庭との連携を深めていきたいです。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年)じゅぎょうのないようは、よくわかる。	66.67%	26.81%	2.17%	4.35%
(高学年)授業の内容はよくわかる。	58.67%	37.33%	4.00%	0.00%
(保護者)学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。	35.22%	63.52%	0.63%	0.63%

＜みそあじについて＞

本校で取り組んでいる「㋯じたく㋞うじ㋐いさつ㋸かんを守る」運動の結果です。

「みじたく、学校の準備ができる」については低学年の約 96％、高学年の約 92％ができると答えています。保護者の回答でも、約 87％で、概ねできているといえます。しかしながら、給食当番のマスクやフッ化物洗口のコップ、学習用具等の忘れ物がまだ少し見受けられます。お忙しいと思いますが、持ち物のご確認とお声かけを引き続きご家庭でもよろしくお願いします。

「そうじ、身の回りの整理・整頓ができる。」については、低学年で約 95％、高学年の約 86％ができていると答えていて、昨年度と同様に頑張って取り組むことができています。掃除は１０分という短時間ですが、担当場所を隅々まできれいにしようと頑張っています。教員が休み時間に雑草を抜いていると、それに気づいた子どもたちが「こ

っちにもたくさん生えている。」「先生、これだけ抜いてきたよ。」と何人も一緒に手伝ってくれます。学校をきれいにしようと自ら行動できる児童が多く、たいへんすばらしいです。今後も、美化委員会と連携しながら、掃除の取組を進めていきたいと思います。

「あいさつを進んでできる。」については、低学年で約 89%、高学年で約 96%の児童ができていると答えています。高学年については、昨年度と同様にあいさつを進んでできていると評価している児童が多いです。しかし、低学年については昨年度よりもできていると答えた児童が少なくなりました。2 学期の始業式や１０月の朝会ではそのことも踏まえて、どういうあいさつが気持ちよいのか、なぜあいさつが大切なのか学校長から話があり、各教室でも担任から話をしました。子どもたちはとても素直で、その後あいさつを頑張る姿が見られています。継続して続けられるように声かけをしていきます。

「時間やルールを守って行動できる。」については、低学年で約 98%、高学年で約 93%の児童ができると答えています。高学年については、昨年度より「できている」と答えた児童が少し減少しましたが、様子を見ていると、授業開始の時間を意識したり、ルールを守ったりしながら生活をしている児童が多いと感じます。教室移動がある時は、他のクラスの迷惑にならないように静かに移動しています。全校で、よい姿を共有しながら、高学年を中心に安井小学校をさらによくしていくために、今後も「みそあじ運動」の取組を推進していきます。

（低学年）	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
みじたく、がっこうのじゅんびができる。	72.46%	23.91%	3.62%	0.00%
そうじ、みのまわりのせいり・せいとんができる。	67.39%	28.26%	3.62%	0.72%
あいさつをすすんでできる。	69.57%	19.57%	7.97%	2.90%
じかんやルールをまもって、こうどうできる。	77.54%	20.29%	1.45%	0.72%

（高学年）	よく出来ている	だいたい出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
みじたく、学校の準備ができる。	54.00%	38.00%	6.67%	1.33%
そうじ、身の回りの整理・整とんができる。	44.67%	42.00%	10.67%	2.67%
あいさつを進んでできる。	56.00%	40.00%	3.33%	0.67%
時間やルールを守って行動できる。	50.00%	43.33%	5.33%	1.33%

（保護者）	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
みじたく、学校の準備ができる。	13.21%	74.21%	11.95%	0.63%
そうじ、身の回りの整理・整とんができる。	10.06%	42.14%	41.51%	6.29%
あいさつを進んでできる。	13.21%	56.60%	27.67%	2.52%
時間やルールを守って行動できる。	15.72%	62.26%	21.38%	0.63%

＜早寝・早起き・朝ごはんについて＞

「早寝・早起き・朝ごはんができている。」と答えたのは低学年で約 84%、高学年で約 82%です。保護者アンケートでは、「早寝・早起きをさせている」が約 72%、「子どもは朝ごはんを毎日食べている。」は約 97%となっています。

「早寝・早起き・朝ごはん」についてできていると答えた児童の割合は、高学年は昨年度とかわらず、低学年については昨年度より 6%程低くなりました。学校でも生活点検等を通して、子どもたちと生活リズムについて振り返り、「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを啓発していきたいと思います。「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣は子どもたちの健やかな体の成長や心の発達に大きく関わります。基本的生活習慣の確立が普段の生活や学校生活をよりよくするのは間違いありません。授業中の集中力や学力にも影響を及ぼすと言われていますので、今後とも「早寝・早起き・朝ごはん」の規則正しい生活リズムの確立にご協力をお願いします。

令和６年度第１回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。皆様からのご意見をしっかり受け止め、今後の学校運営をはじめ日々の教育活動に生かしていきたいと考えています。

京都はぐくみ憲章
社会のあらゆる場で実践し、行動の輪を広げましょう!